

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18401019

研究課題名（和文）中国古医籍が日・韓・越の伝統医学形成史に与えた影響の書誌学的研究

研究課題名（英文）A bibliographic study about the influence of Chinese old medical books on the history of formation of traditional medicine in Japan, Korea, and Vietnam

研究代表者

真柳 誠（MAYANAGI MAKOTO）

茨城大学・人文学部・教授

研究者番号：20249999

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：漢字文化圏、伝統医学、形成史、古医籍、書誌データ

### 1. 研究計画の概要

(1) 中国周縁の漢字文化圏では近世まで歴代中国医籍が流通し、各々の伝統が形成される素材とされてきたため、今なお中国医学の影響が色濃い。しかし相互には別々の体系といえるほどの相違があり、日・中・韓では研究交流に様々な困難を招いている。それは互いに相違した経緯について、客観的歴史観が共有されていないからである。

(2) そこで本研究は世界各国に現存する中国・日本・韓国・ベトナムの古医籍書誌および関連史という、主観性の混じらない史料の調査収集を第一に行う。さらに書誌データを定量史的に4国間で比較検討し、自国中心主義を排除する。当結果に各国の歴史・地理・社会的背景をふまえ、各々体系が固有に発展した経緯を解明し、この客観的歴史観の確立により相互の理解と交流に資する。

### 2. 研究の進捗状況

(1) すでに台湾・韓国の主要図書館にて全所蔵古医籍の原本調査を完了し、ベトナム蔵書も今夏の最終調査で完結する。日本所在書は原本調査以外に、国文学研究資料館データベースより医薬関連国書の書誌を提供いただいた。調査制限が多い中国大陸所在書は、原本調査以外に全国所蔵古医籍データベースより漢籍医書の書誌を収集した。これらで得られた漢字文化圏4国の書誌データは、今夏の調査が完結すると同一バージョンの重複を除き約29,000件となる予想で、現存書の90%前後を網羅すると推定される。

(2) 現在の日本では16世紀に形成された後世方派と、18世紀以降の古方派との融合した伝統医学が一般に行われている。他方、幕末

までに323種の中国医書が計700回ほど復刻され、江戸前期までは後世方派が基づく明代医学全書、江戸中期以降は古方派が基づく漢代医方書の復刻が多い。現在の韓国では『東医宝鑑』（1613）による臨床が主で、日本統治前までに94種の中国医書が計200回ほど復刻され、『東医宝鑑』の基づく明の医学全書が多く復刻されていた。現在のベトナムでは『医宗心領』（1780）による臨床が主で、フランス統治前までに中国医書14種の復刻が現段階で知られたが、実際はその数倍あったと思われる。また『医宗心領』の基づく明の医学全書が多く復刻されたと予想される。

(3) 漢字文化圏各国の伝統医学は、各々を体系づけたのが各一人の医家による医学全書で、自国を強調する意識が共通して認められる。それらに多く引用され、また復刻されていたのも一人の医家による明代の医学全書で、うち『医学入門』と『医学正伝』は各国医学自国化のモデルとされていた可能性が浮かんできた。

### 3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

（理由）各国古医籍の書誌データ収集はベトナムの約300件を残すだけとなった。これまで収集したデータの定量解析も進行しており、研究開始前に予想された結果とおおむね一致している。

### 4. 今後の研究の推進方策

本研究最終の今年度はベトナム所在書の調査が完結する。これをふまえ、明代医学全書が各国医学のモデルとなった理由、にもかかわらず各国の体系が相違する理由を、地

理・歴史・社会・経済の要因も含め解析する

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計47件)

- (1) 真柳誠「國家圖書館〔臺北〕所藏の醫藥古典籍(22)」(『漢方の臨床』56巻2号355-360頁、2009年2月、査読無)
- (2) 真柳誠「楊守敬之醫書校刊與江戸考證醫學家之文獻研究」(『故宮學術季刊』26巻1期75-132頁、2008年9月、査読有)
- (3) 真柳誠「日本の医薬・博物著述年表(四)」(『茨城大学人文学部紀要・人文コミュニケーション学科論集』5号25-48頁、2008年9月、査読無)
- (4) 真柳誠「現代中医鍼灸学の形成に与えた日本の貢献」(『全日本鍼灸学会雑誌』56巻4号605-615頁、2006年8月、査読無)

[学会発表] (計12件)

- (1) 真柳誠「北宋政府校正『金匱要略』小字本の出現」、第59回日本東洋医学会学術総会、2008年6月7日、仙台市・仙台国際センター

[その他]

ホームページ

<http://mayanagi.hum.ibaraki.ac.jp/top.html>